

第5回 袋井市水道料金等懇話会会議録

期 日 令和6年12月26日(木) 午後1時30分～3時40分

場 所 袋井市役所 3階 第301会議室

出席者 委員：佐藤和美、鈴木祐子、田中利宏、寺下伸志、豊田浩子、川上政年、
杉井弥生、高橋美穂（設置要綱順による 出席者8名）

市：環境水道部長、水道課（4名）、下水道課（5名）

コンサル：大場上下水道設計（2名）、日本水工設計（2名）

□ 議 事

- 1 袋井市水道料金等懇話会意見書(案)について(資料2)

□ 質 疑

1 資料1「第4回 袋井市水道料金等懇話会会議録(要旨総括)について」

委員A 要旨総括にある主な意見について、前回の懇話会で8名の委員のうち3名が中庸案ではなく検討ケース4に賛成している。3名は全体の37%に当たり、結構な割合である。そのため、主な意見の中に中庸案でない意見も組み込む方が懇話会の実態を表すことになる。例えば、「この度の改定は上水道と下水道を共に改定するため、市民の負担を軽減した方が良い」といった意見も入れたほうがよい。

事務局 修正案を作成する。

2 資料2「袋井市水道料金等懇話会意見書(案)について」(第2 水道事業について)

委員E アンケート結果と懇話会で違う結論になるのだが、アンケートに対してどう考えているかを記載する必要がある。アンケートでは、料金が上がってもいいという人はおらず、上がらない方がいいという意見だが、耐震化は必要であると思っている。懇話会では、耐震化は必要という意見を捉えて、2年前倒しで耐震化を進める案を採用したことから、その表現が必要である。

事務局 本日の懇話会での皆さんからの意見に沿って11ページに記載の検討をしたい。6ページまでは経営課題への提言という内容で、7ページ以降は水道料金改定の内容となるため、アンケート結果について記載するのであれば、7ページ以降が適当である。

委員E 11ページに「基幹管路の耐震化を2年前倒しで進める案が望ましいとの結論になりました」というところが、市としてアンケート結果をどう捉えたかを表現するところであると思う。

- 事務局 意見書は、最終的には市のホームページに掲載されるが、その前に3月に正副会長から本懇話会の意見として市長に提出するものであるため、委員の意見を重視し、事務局の考えを極力入れないように作成している。
- 委員A 意見書は懇話会からの意見書である。懇話会で話し合ったことをまとめ提出することから、私達の意見をまとめるということが大原則となる。アンケート結果についても議論したということを記載した方が良い。記載場所については、「2 経営課題への提言」もしくは11ページの最後に付帯意見を記載するのが良い。
- 事務局 事務局の別案としては、「また、市民アンケート調査では水道料金を上げずに耐震化を進めて欲しいといった意見が多くなっておりますが、その背景としましては、市民に耐震化等の現状を十分に理解されていないため、このような結果になったと考えられます。耐震化の促進は一方で水道料金に影響を与えるため、災害時の水の重要性や耐震化の必要性について市民への理解を深めるための啓発活動を求めます。」を追加するものである。
先程は11ページへの記載について提案したが、5ページや6ページに記載することも検討する。
- 委員G 重要なことであるため記載した方が良い。
- 委員E 11ページに入れた方が良い。ただし、「市民が耐震化等の現状を十分に理解していない」といった表現は本当に良いのか。「具体的な料金が不明確な段階でのアンケートであったため」といった表現の方が良いと思う。
- 委員H 「周知が不足していた」といった表現ではどうか。
- 事務局 検討する。
- 委員A アンケートに関する内容は、11ページの「(4) 耐震化事業と改定率」に記載するようお願いする。
- 委員H 9ページの「ア 基本料金」において、懇話会では、「全く水道を使用していなくても設備を維持するために必要な費用は発生するため基本料金は必要である」という説明があったが、今の記載内容では、水を使っていなくても負担する義務があるという表現が弱いように感じる。
もう一点、近年の物価上昇を考えると料金を上げるべきという考えを述べたが、その物価上昇は近年の予想もしていなかった社会情勢の変化によるもので、数年前には想定できなかったという思いがある。料金が上がるのは仕方ないという考えであるため、この意図を盛り込んでほしい。

委員G 施設見学があったが、小学生も施設見学をしているとのことである。自治会を含め他の団体の施設見学の機会を増加して欲しい。

事務局 検討する。

委員C 11ページ「(4) 耐震化事業と改定率」の「議論においては」の段落で、「物価高騰を踏まえ、少しでも改定率を低いほうが良いといった意見もありましたが」の部分のところに、先程の述べられた会長の意見に沿って、委員のうち3人は採用案以外の案に賛成だった旨を記載した方が良い。

事務局 会議録の修正に併せて検討する。

委員A 他に意見はあるか。では、水道事業については委員からの意見を反映し、修正をお願いします。

~~~~~ 休 憩 ~~~~~

### 3 資料2「袋井市水道料金等懇話会意見書(案)について」(第3 下水道事業等について)

委員E 12ページの下から3行目にある「技術力維持」ではなく「技術力の向上」が適当である。

委員D 13ページ(1)経営の健全化と経営持続のための取組の5行目にある「経費回収率の向上進め」を「経費回収率の向上を進め」に修正をお願いします。

委員E 15ページの5段落目「市の財政負担の継続が必要である」という文章の趣旨について説明をお願いしたい。

事務局 使用料単価150円/m<sup>3</sup>とは、国の方針における最低限設定すべき使用料単価であり、袋井市では実際の汚水処理に係る費用は280円/m<sup>3</sup>である。国は、150円/m<sup>3</sup>以上の部分については基準内の繰り入れを認めているが、更に発生する不足分については、国の認める基準とは別の繰り入れを一般会計から行わなければならない。

委員E 内容については理解した。15ページ 16行目の「維持管理費の一部と資本的支出に充当される一般会計からの繰入金に残ることになり」という表現を分かりやすくしてほしい。

事務局 当該部分については表現を改めるように検討する。

#### 4 資料2「袋井市水道料金等懇話会意見書(案)について」(第4 まとめ)

- 委員H 19ページ最後の2行には「本懇話会の意見を参考に、長期的な経営の健全化を目指し、より一層の経営の効率化に取り組むことを求めます」と記載されているが、2段落目の3行目では「早急に耐震化を進めるべきとの結論となり」と記載されている。これらの表現では耐震化を進めるために料金を改定するという印象を受けるため、2段落目の3行目に経営の健全化に関する記述も入れたほうが良い。
- 委員F 先日、防災に関する会議に出席し、耐震化の重要性を感じた。経営の健全化に関する記述を入れるとともに、5行目にも耐震化に関する記述を入れたほうが良い。
- 委員H 全体を通して、耐震化と経営の健全化を進めていくという内容にしたほうが良いと思う。
- 委員A 「第4 まとめ」の1段落目は、両事業に対する公営企業としての料金についての一般論が整理されている。2段落目から本懇話会に関する内容となっている。全体の流れとしては、1段落目の公営企業の概論の中にも耐震化を進めるという文言を入れ、2段落目においても水道事業に係る経営の健全化及び早急な耐震化という形でまとめてよい。
- 委員F 1段落目では災害に強い施設にするという内容にし、2段落目で耐震化という形ではどうか。
- 委員A 事務局へのお願いとしては、1段落目に両事業について災害に強い施設とするという内容を盛り込み、2段落目で水道事業について経営の健全化及び耐震化を進めるという内容に修正いただきたい。
- 委員E 今まで議論してきた内容としては多少料金が上がっても耐震化は早く進める方がよいという内容であった。そのため、2段落目の「早急に耐震化を進めるべきとの結論になり」という文言では何よりも耐震化を優先的に実施するという印象があり、違和感がある。
- 委員F 「経営の健全化とともに耐震化を進める」のような表現ではいかがか。
- 委員A 要点としては、社会情勢の変化や耐震化の2つを重要な課題として協議を進めた結果、経営の健全化及び早急な耐震化という表現ではどうか。

- 事務局 「耐震化を進めるべき」という表現については、少しトーンを落した表現に改めたい。「耐震化」と「経営の健全化」を軸に平均改定率と基本料金のお話を盛り込み記載内容を検討する。
- 委員F 11ページ（４）耐震化事業と改定率の８行目に記載されている「主婦目線」という表現を「市民目線」若しくは「消費者目線」等に修正すべきである。
- 委員H 市民目線では料金は安い方がいいが、色々なことを考慮すると料金を改定する方が適切である。ただ、これらについては周知されないと料金改定が必要であるという考えにならないため、市民への周知を十分に実施していくことを強調した方がよい。
- 委員C 意見書はいつ、誰に、どのように提出するのか。また、その後の予定はどうなるのか。
- 事務局 今後の予定は、２月開催予定の第６回懇話会で今回の懇話会の意見を反映した意見書の最終案を提出する。懇話会で承認いただいた意見書を、３月中旬頃に会長及び副会長より袋井市長へ提出する。その後は、袋井市として料金改定を検討し、３月後半から４月頃に庁内会議で検討後、市議会のへ説明を行う。料金は条例で定められたものであるため、来年９月市議会定例会で条例改正について承認いただければ、令和８年４月から料金等の改定となる。また、この間に料金改定に関する周知を行う。
- 委員C 今後、懇話会に関する経過を確認するには、ホームページで確認するということになるのか。
- 事務局 次回懇話会終了後は会議録等があるため、それらを含めて市長への意見書提出についての報告を考えている。議会上程などについてはホームページ等で御確認いただくこととなる。
- 委員D 最終的な料金改定は議会で決議されるということか。
- 事務局 水道料金及び下水道使用料については、条例で定められているものであるため、市議会の議決がないと改定できない。
- 委員D 議員の方々への十分な説明をお願いします。
- 委員H 意見書提出後の経過状況について、メール等で連絡いただくことは可能か。

- 事務局 同時期に総合計画の見直しを実施しており、SWOT分析に対して、本懇話会における皆様からの意見を反映させていただいている。総合計画の経過に関する報告もあることから、料金等改定についても併せて報告する方法を検討させていただく。
- 委員G 他市では水道管が破損している。袋井市では同様な事故は起こらないか。
- 事務局 袋井市では基幹管路の耐震化を古い管路から進めており、40年から50年経過している管路はないため、事故が発生する確率は低いと考えている。
- 委員E 19ページの5段落目の内容と最終行の「より一層の経営効率化に取り組むことを求めます」の部分に関して強調して欲しい。
- 委員A 高橋委員について、会議録を確認いただき、意見等を意見書に反映させていただきたい。
- 委員A 本日も沢山のご意見を賜り、とても有意義な懇話会になった。  
これをもって議事を終了したい。  
事務局は本日の意見を取りまとめ、次回懇話会で意見書最終案を示していただきたい。
- 事務局 最終回である第6回懇話会は令和7年2月13日（木）に袋井市役所301会議室で実施予定である。  
以上で、第5回懇話会を閉会する。